



LILLA KONSTSALONGEN Malmö:  
Gerhard Nordström, watercolors and  
paintings GALLERYWALLNER, Malmö:  
Kazuo Kadonaga LUNDS KONSTHALL

ゲルハルト・ノルドストロームは、エステルレンとクレタ島の水彩画とローリングを官能的で具体的な生活で満たしています。強い青い空と雲に囲まれていると、その場にいるような気分になり、氷に包まれた処女のクレタ島とエステルレンを見ることができます。

ノルドストロームの油絵は、不穏な自然、火山の噴火、誇張された技術的介入のために洗練され、照らされていますが、水彩画は、生命そのものであるバランス、色とりどりの複雑で合流したバランスに基づいています。自然のきらめく部分を見ることができますが、火山の山の輪郭や戦いの空、雲のヒントを通して、それらの未来について考えることもできます。

水彩で「7月の日」です。初めて描かれた、クレタ島と同じくらい処女のエステルレン。木々や牧草地は湿ったもやに覆われています。ノルドストロームは雨が降った

後、新鮮なものを見つけるために出かけたに違いありません。

霞が消える前に洗った。黒を基調としたアクアレル「Treeon "stand」の樹木との遠距離恋愛により、手つかずの自然の想いに疑問符を付けて近づけることができます。樹木が成長する過程で樹木の存続に不可欠です。しかし、人間の道の明らかな仲間としてそこにあるべきであるということは、もはや自明ではありません。

ドミニーの隣のギャラリーでは、部屋は木の幹、全体として機能するさまざまな長さや厚さの慎重に計画された丸太で作られています。種はピンク色の植物骨髄を持つ杉です。出展者の角永和夫(1946年生まれ)は、日本の北側から来ました。それは彼の家族が製材所を持っている樹木が茂った県であり、それは彼に木材への無制限のアクセスを与えます。木は、ガラスやコンクリートから絞り出されたものの、意識のある場所でも存在し続けるオリジナル素材です。空気によって徐々に変化するため、乾燥状態でも生きている、つまり変化しやすい。

角永は丸太を半分に切り、植物の方向に向けます。その後、亀裂が徐々に開き、曲がり立ち上がる。しかし、ほとんどの場合、彼は木を水平にセンチメートルの厚さの板に切り、上下に小さな粘土を、中央に幅を広げて、丸太の特徴を維持しますが、毎年恒例のリングが振動します。したがって、彼は表面全体に緊張を生み出します。

---

# KEEP LIFE ALIVE

---

AIF 画像の単純さは、それがもはや芸術の問題ではないことを示唆しています。ここでは、AIF は自分自身で話しますが、言い換えを仲介します。もちろん、それは間違っています。ジョセフソンは、お互いに競争するよりもお互いに競争していることを文書化して伝える正式な経済に到達しようとしてしました。この緊張により、彼は内側と外側の動きの違いを体験することができます。のこぎりの刃が木に入ると、それはそれ自体が生じるパターンで生き返り、無限の年次リングに沿って動きます。作品を見ると、その肉体的な美しさが目に強い印象を与えますが、有機物が身体に入る人々にもたらす生命、呼吸、振動の空間への意識が、その解釈を可能にします。日本の生活と生産における女性。角永は、暗闇の中で光を持って歩いていると、突然光線が入る大気に気づいたように見える大気球を作り出します。彼の作品は形ではなく、それを切るだけです。

彼は、木の小さな部分が生命と成長に何かを意味することを生き続けたいと考えています。これは、木材自体の成長構造に従って葉の薄いスライスにカットされた丸太の中で最も微妙なレイアウトを受け取った原理です。ディスクは緩んでいて、空気がディスク内を移動します。

すぐに森になり、中には香りと歌を集めた作品の雰囲気が見えました。ルンドアート

ギャラリーでは、今日のスポーツはより大きな視点で見られます。20代と30代のAIFとの関連で価値があると考えられ、スウェーデンのスポーツ連盟と協力して活動した労働者スポーツ協会は、オリンピック大会の前に際立っており、独自のスパルタシアードを持っていました。AIFの写真を撮る前に、アクティビティやコミュニティとしてのスポーツへの自信を感じることができます。その自信は、今日のスポーツ写真にも見られます。60周年を祝うルンド・ボルクラブに関連して、デモの様子を垣間見えます。「スポーツ写真-Samhällsspegel」彼はその立場を呼びかけました。ますますエリートスポーツになり、したがって測定と除外になっているスポーツは、レポートベースで表現力豊かな言語を持つ画像を取っておきました。人生のさまざまな分野からの描写が互いに追加され、社会とスポーツが互いに比較検討され、互いに反映されます。多くのことが暗示されていますが、それでも恐ろしく明確です。商業化されたショーとしてのエリートスポーツへの取り組みは皮肉に満ちています。皮肉なことに、たとえばビョルンボルグに針を刺し、勝利がひびきまわって賞品にキスをします。一方、若い求職者は雇用サービスや、空に天使のように見えるABBAで落ち込んでいます。